

## ワークショップ 16

### 「高齢者潰瘍性大腸炎治療指針の検証」

司会 中村 志郎（大阪医科大学第二内科）

仲瀬 裕志（札幌医科大学消化器内科学講座）

本邦では高齢者潰瘍性大腸炎(UC)患者が増加傾向にある。高齢者では加齢や併存疾患などによる免疫能の低下が生じるとされている。従って、ステロイドや生物学的製剤治療介入に際して、合併症への注意や手術適応の判断など細心の注意が求められる。本セッションでは、高齢UC患者の臨床的特徴を始め、各治療法の有効性と安全性などについて活発な討論を行いたい。日本の治療指針を検証できるか？多くの演題登録を期待する。